



京都大学 21 世紀 COE 市民セミナー 「気候変動の過去・現在・未来」

地球温暖化？気候変動？・・・最近よく聞くけど、いったい何が起きているの？
近年台風が多いのも、熱帯夜が増えているのも、これらと大きな関係があるので
しょうか？ 私たちの生活に身近な気候変動について、京都大学の 2 名の講師が
わかりやすくお話をさせていただきます。皆様のご出席をお待ちしております。

日時

平成 16 年 10 月 31 日 (日)
午後 3 時から 5 時まで
(受付開始午後 2 時)

場所

ビーコンプラザ
中会議室

費用

無料

講演者氏名およびタイトル：

増田富士雄

(京都大学大学院理学研究科教授)

「地質時代の気候変動からみた現在」

木田秀次

(京都大学大学院理学研究科教授)

「天気予報から気候予測へ」

進行司会：

竹村恵二

(京都大学大学院理学研究科教授)

連絡先：地球熱学研究施設 竹村 (電話 0977-22-0713)

The 2nd KAGI21

International Symposium Beppu, 2004

1-4 November 2004

B-Con Plaza, Beppu City, Oita, Japan

<http://kagi.coe21.kyoto-u.ac.jp/>

KAGI21

京都大学 21 世紀 COE プログラム「活地球圏の変動解明」では、別府市の後援をいただき、11 月 1 日～4 日の期間で国際シンポジウムを開催いたします。この市民セミナーはその一環として開催させていただきます。

講演要旨

「地質時代の気候変動からみた現在」



増田 富士雄
(Fujio MASUDA)

京都大学大学院
理学研究科教授

数億年間あるいは数万年間といった長い時間を通して気候変動をみると、現在は特異な時期であることがわかります。極地方に大規模な氷河がある現在の気候の成立は、温暖な恐竜時代から寒冷な人類時代へという変化ととらえることができますが、その変化を支配していたのは海洋の深い所にある深層水の性質なのです。暖かい深層水から冷たい深層水への交代がどのようにおこったのかを紹介します。

「天気予報から気候予測へ」



木田 秀次
(Hideji KIDA)

京都大学大学院
理学研究科教授

天気の予報は今では大型計算機を利用して行われています。どのように計算するのか、これには数10年の研究が必要でした。現在では、毎日の高気圧や低気圧の天気をはじめとして、台風や集中豪雨もうまく予報できるようになりつつあります。このような計算の方法を使って、将来の気候を予測する研究も行われており、地球温暖化の可能性が研究されています。